

# CWA NEWS



千葉県ウィスコンシン協会バスツアー //



## かつうらビッグひな祭りと 御宿・月の砂漠、酒蔵めぐりの旅

恒例となりました千葉県ウィスコンシン協会のバスツアー、今回は『かつうらビッグひな祭り』(勝浦市)を中心に、外房の観光スポットをまわりました。

晴天に恵まれた2月23日(土)、稲毛海岸駅から乗車した18名を含め、総勢42名の参加者を乗せた大型バスが千葉駅N T T前を出発。国道297号線を通って勝浦に向かいました。途中、道の駅「あずの里いちほら」、「たけゆらの里大多喜」に寄ったものの、トイレ休憩のみで買い物タイムはなし(!)、おかげで無事10時過ぎには勝浦に到着できました。



勝浦市民会館前の臨時駐車場でバスを降りた一行は、それぞれグループに分かれて勝浦市街を散策。一つめの見所、「遠見岬(とおみさき)神社」には、60段の石段に約1,200体の人形が飾られています。飾り付けはボランティアによるもの。毎日、朝7時から約1時間かけて飾り付けられます。屋根も何もない神社のこと、雨が降れば当然片付けなくてはなりません。ひな祭りにかかるボランティアの皆さんの熱意に頭がさがります。このほか市内には、「覚翁寺(かくおうじ)山門前」や、墨名の交差点、市民会館など見所がたくさんあります。また、店先やアパートの階段、塀の上にもお雛様が飾られ、まさに町中が「ひな祭り!」といった感じで、歩いているだけでなんだか心がうきうきしてくる早春にふさわしいお祭りでした。勝浦市内の多津美旅館でお昼をいただいた後、バスは御宿へ。



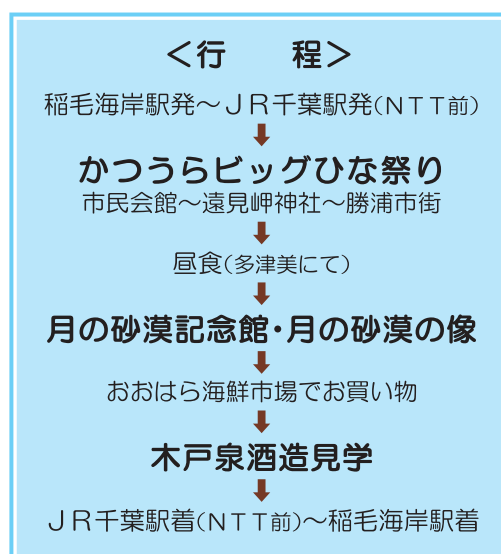
御宿中央海岸に面したところにある「月の沙漠記念館」を訪れました。童謡「月の沙漠」は、抒情画家・加藤まさを氏が病気療養のため滞在した御宿海岸をモチーフにして書かれたものです。記念館には、加藤まさを氏に関する展示をはじめ、地元出身の画家・君塚彦四郎氏の作品展も行われていました。御宿中央海岸には、「月の沙漠」さながらの王子様・お姫様の銅像があります。予定では、銅像の前で記念写真を撮る予定でしたが、強風による砂嵐のため断念。一部の方々が、果敢にも銅像を見に行かれましたが、砂嵐の勢いはすさまじかったようです。

「おおはら海鮮市場」でお買い物を楽しみ、いよいよ最後の行程、大原にある「木戸泉酒造」へ。木戸泉酒造は、明治から続く酒蔵で、自然農法(無農薬・無化学肥料栽培)産米を100%使用し、天然の生の乳酸菌を用いて、高温で酒母を仕込む方法で純米酒を造っています。2グループに分かれ、帽子をかぶり、靴を履き替えて蔵のなかに一歩踏み入れると、甘酸っぱくどこかフルーティな香りが……。蔵は、ちょうど新酒の仕込みの真っ最中。大人の身長以上もある不安定な足場から

おそるおそる酒樽を覗かせていただくと、発酵した醪(もろみ)が溢れんばかり。飲兵衛には何ともたまらない光景でした。蔵の中で樽から絞った原酒を試飲させていただいたあとは、場所をかえて本格的な試飲へ。にごり酒をはじめ、木戸泉酒造で造られた日本酒を堪能させていただきました。自分で飲む分、ご家族やお友達へのお土産と、めいめい気に入ったお酒を買って求め、木戸泉酒造を後にしました。

帰路は、一宮から九十九里道路(波乗り道路)、東金有料道路を経て、千葉駅そして稲毛海岸駅へ。途中、強風や大雨に見舞われましたが、参加者の皆様のご協力により、大きな事故もなく、無事バスツアーを終えることができました。

千葉ウィスコンシン協会では、来年度も引き続きバスツアーを実施する予定です。行ってみたいところなどございましたら事務局まで是非お知らせください。





# Wisconsin 現地だより

Wisconsin千葉委員会委員長  
 ジョージ ツグロス 氏



kogarashi no ima ya fukutomo chiru ha nashi  
bitter winter wind-blowing now yet no leaves to drop  
NATSUME Sōseki (1867-1916)

I bring you greetings from your friends in Wisconsin, where the weather has felt like that which is described in the preceding haiku. It has been a record breaking winter here in Madison, with a total seasonal snowfall to date of 86.7 inches or 220.22 centimeters! It has been cold, too, with wind chill temperatures as low as -45 degree F or -42.78 degrees C.

One of the ways we have warmed our hearts has been to return to our memories of the 2007 Chiba Goodwill Delegation. In fact, I have just received a copy of the beautiful memory book assembled by the Delegation and the memories have come rushing back.

It was wonderful to see old friends again and meet new ones. Hanendaiko thrilled children and adults alike with their talented and energetic performances. I was pleased to witness the signing ceremony between Madison Area Technical College and Kanda University, further deepening educational ties between our two states. The biomass delegates shared knowledge with their Wisconsin counterparts regarding the latest developments in this important field. The medical group was able to learn more about the "Madison Method" of working with the mentally ill.

As always, at the heart of all this great work were the fundamental person to person relationships between the host families and the members of the delegation. Meaningful relationships were built and memories were created, once again.

During my last trip to Chiba, I remember that my host family Mr. Naoki and Mrs. Sumie Shiratori, did that for me. They said they would take me to Mount Fuji, a place I had always wanted to visit but never had. When I protested that would be quite an imposition on my part to drive from Katori-shi to Mount Fuji, Mr. Shiratori said, "No. We will make memories." And so we did; and I have thought of those memories every day since then.

In 2008 we will make more memories together. Wisconsin-Chiba, Inc. will host a delegation of Women of Wings and the Chiba Wisconsin Association will welcome a Wisconsin Goodwill Delegation, all the while deepening the friendship of our two sister states.

It warms my heart to think about all that is to come in 2008. And that warmth will come in handy during the rest of the cold Wisconsin winter!

All the best,

George Tzougros  
President, Wisconsin-Chiba, Inc.

## 「木枯らしの 今や吹くとも 散る葉なし」 夏目漱石(1867-1916)

Wisconsinコンシンの友人から皆様にご挨拶を申し上げたいと思います。ここ Wisconsin はこの俳句に詠われているような天候で、マディソンでは2m22cmという記録的な雪が降り、凍りつくような風が吹いて-42.78℃を記録しました。

しかし、私達の心を暖かくしてくれる方法の一つに、2007年千葉友好使節団の思い出があります。事実、私は美しい思い出のつまった派遣報告書を受け取ったばかりで、数々の思い出がどっとよみがえってきました。懐かしい友人と再会し、また新しい友人に会えたことは素晴らしいことでした。跳ね太鼓のエネルギーで力量のある演奏には子供も大人も同様にわくわくしました。また、私はマディソン地域工科大学と神田外国語大学との学校間協定の調印式に臨席し、私達の州と県の教育上の関係がこれからは深まっていくことを目の当たりにでき嬉しく思っています。バイオマスグループはこの重要な分野における最近の発展に関して訪問先と知識を分かち合えました。医療グループは精神的な病気に取り組んでいる「マディソン方式」について学ばれました。いつものように、こういった素晴らしい交流の中心には、ホストファミリーと派遣団員の人と人との基本的な関係があります。今回もふたたび意義ある関係が構築され、また思い出が作られました。

前回私が千葉を訪問した時、ホストファミリーの白鳥夫妻が私のためにしてくださったことを思い出します。かねてから行ってみたいと思っていた現地でできなかった富士山へ行きたいと言ってくれました。私は香取市から富士山までのドライブはかなりの負担になるので結構ですと申しましたが、白鳥さんは、「いいえ、思い出を作りましょう。」と仰ってください、私達は富士山に登りました。私はそれ以来、毎日このことを思い出しています。

私達は2008年にはもっと多くの思い出を共に作りましょう。 Wisconsinコンシン千葉インクは女性の翼の皆さんをホスト致します。そして、千葉 Wisconsinコンシン協会は Wisconsinコンシン友好使節団を迎えていただき、両県州の友情を深めたいと思います。2008年にやって来るこれらのことを思うと私の心は暖かくなります。そして、この暖かさが Wisconsinコンシンの残りの冬の寒さをやわらげてくれることでしょう。



千葉ウィスコンシン協会  
運営委員会アドバイザー

林 和也

## ウィスコンシンと私 ：草の根の寄付の文化

もう10年以上も前のことであるが、ウィスコンシン州南端のウォルワースという町にある食品製造会社の責任者として赴任した。絵のように美しい湖とはるか地平線まで広がる豊かな農地と牧場、北欧系の入植者の子孫たちが伝統を重んじた質実な生活を営んでおり、古き良きアメリカがそこにあった。

毎年6月初め、地元のいくつかのハイスクールの卒業式は遅い日没とともに始まり、在校生や仕事を終えた両親の見守るなか、

この式のために特別に用意された黒いガウンとハットの装いの卒業生が中央の席に着く。正面のステージの裏側には、式の始まるずっと前から数十人もの同じ町の人々が長蛇の列。ロータリークラブで見かける町の名士たち、ちょっとした商店のオーナー、優雅な引退生活を送る老夫妻などに加えて、終日真っ黒になって働いている小牧場主、顔見知りのパブの主人たちもが、みな大きな赤い造花を胸に付けてもらって列をつくる。全員が卒業生に奨学金を贈る寄付者である。私も地元の一企業の代表として毎年その列に加わった。

司会の教頭先生が一人ずつ寄付者と奨学金を授与される卒業生の名前を高らかに告げると、上気した顔の若者が次々に壇上に上がり、私ども寄付者は一言お祝いの言葉と奨学金の額を告げて握手。大きい額の奨学金が告げられるとワーツという大歓声と拍手。一人当たり2,000～5,000ドルを贈る企業オーナーや商店主があれば、200～300ドルを毎年贈る老婦人もある。

奨学金の受給者は、卒業生の進むべき上級学校の専攻分野に対する寄付者の意向と受給申請者の志望を考慮して、地区の教育委員会の先生方によって決められ、進学する卒業生のほとんどは何らかの奨学金を受けられる。

次代を背負う若者たちの教育を地元のみinnで支え合おうという、草の根の寄付の文化がそこにあった。

予告

### 理事会・定期総会・ウィスコンシンフェスティバルの 開催について

来年度の理事会・定期総会を下記のとおり開催する予定で、現在準備を進めています。

また、定期総会終了後、会員等の皆様相互の交流を目的としたウィスコンシンフェスティバルを開催する予定です。詳細については、後日連絡いたします。

#### <理事会>

日時：平成20年5月20日(火) 19:00～  
会場：京成ホテルミラマーレ  
(千葉市中央区本千葉町15-1)

#### <定期総会・ウィスコンシンフェスティバル>

日時：平成20年5月31日(土) 13:30～  
会場：プラザ菜の花  
(千葉市中央区長洲1-8-1)

#### 【編集後記】

今回のCWA NEWSは、会員等の交流事業「バスツアー」の活動報告と寄稿文をメインに編集しました。これからも会員の皆様に様々な情報を提供したいと考えていますので、御意見などありましたら事務局までお寄せください。(Nao)

発行所：千葉ウィスコンシン協会

発行人：森山茂男 編集人：榊田直美

<http://www.chiba-wisconsin.jp/>

〒261-7114 千葉市美浜区中瀬2-6 WBGマリブイースト14階

(財)ちば国際コンベンションビューロー内

\*電話でのお問い合わせ ☎043-223-2436(千葉県政策推進室)